

あなたと世界を変えていく。



スマホ教室の取組について

2023年 9月 5日

ドコモCS栃木支店
営業部

スマートフォンのある毎日をお手伝いする教室 基本操作以外にも、カメラやLINEの使い方などを学ぶことができます

01

講座受講料が無料 ※一部有料

02

97%のお客様にご満足いただいている講師

03

わかりやすさ・見やすさにこだわった学習テキスト

04

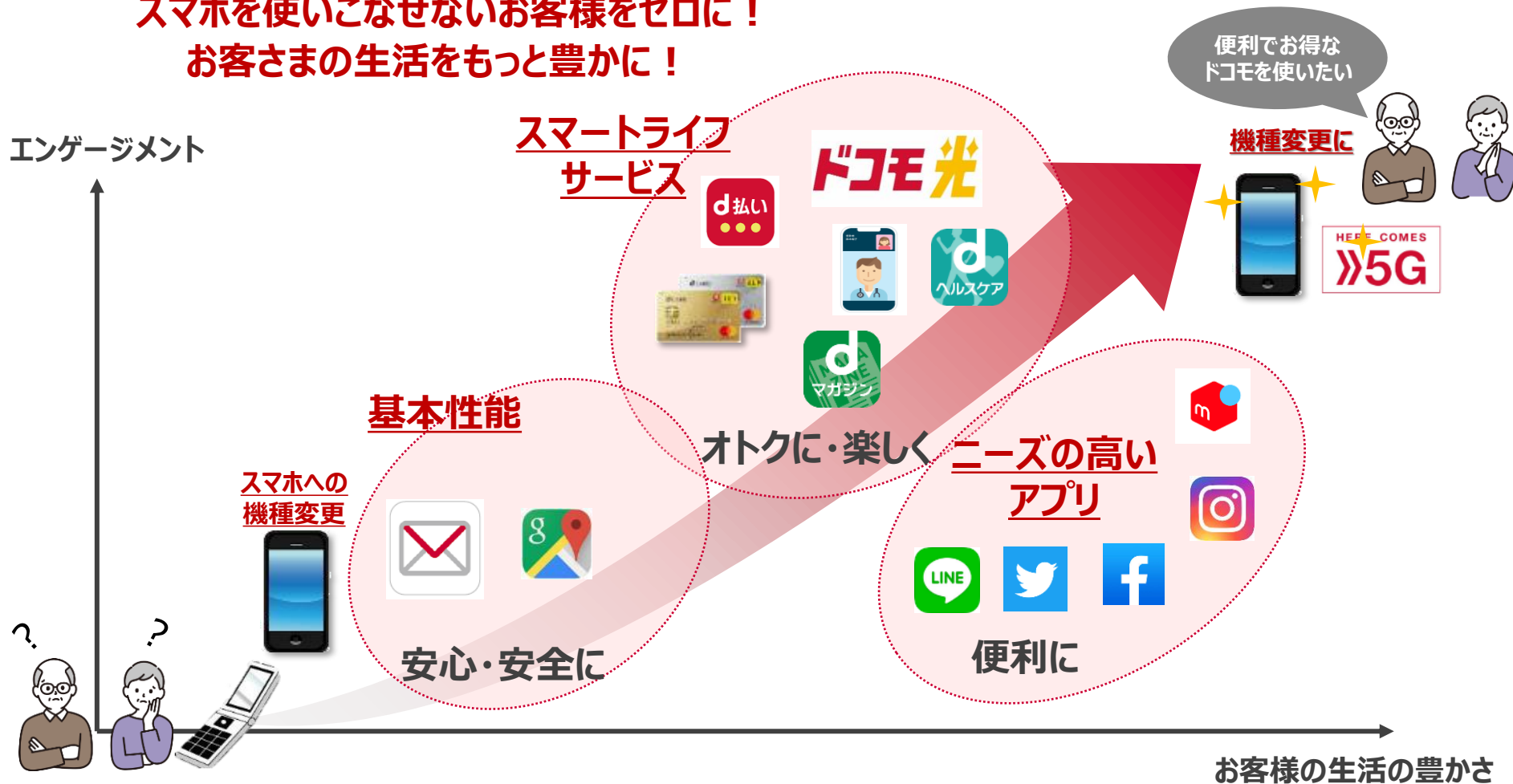
ドコモ回線をお持ちでないお客様もご参加歓迎

これまで1600万人にご参加いただき
97%のお客様にご満足いただいております



スマホ教室を通して「デジタルデバイド解消」「スマートライフ促進」をめざし、
お客様の生活を豊かにしていくサポートを実施

スマホを使いこなせないお客様をゼロに！
お客さまの生活をもっと豊かに！



カテゴリ	講座名	内容
体験編 (2講座)	スマートフォンを触ってみよう ※通常版/体験会版	スマートフォンならではの魅力を体験していただきます
	料金サービスについて学ぼう	ahamoの概要や既存プランとの比較、申込方法を紹介します
入門編 (6講座)	はじめてのスマートフォン	スマートフォンのボタン操作、画面の見かたなど、基本的な操作を学びます
	文字入力をマスターしよう	いろいろな種類の文字入力方法を詳しく学びます
	電話をしよう	電話のかけ方、電話帳の登録など基本的な操作を学びます
	メールをしよう	メールの種類、SMSやドコモメールの送り方など基本的な操作を学びます
	カメラを使おう	カメラのきれいな撮り方、便利な撮影機能、動画撮影、写真の見かたを学びます
	あんしん・安全に利用するために (シニア向け/小学生・保護者向け/中高生・保護者向け)	スマートフォンやケータイを楽しく使っていくために、正しい使い方や知識を身につけます
基本編 (3講座)	かんたんなオンライン手続きから学ぼう	dアカウント、dメニュー、My docomo、オンライン予約、遠隔サポートについて学びます
	インターネットを使おう	ネット検索のしかた、音声検索、注意点について学びます
	アプリを楽しもう	Playストア (App Store) からのアプリの探し方、取り方、消し方の基本操作を学びます
応用編 (9講座)	キャッシュレスをはじめよう	d払いの利用方法、dポイントについて学びます
	知っておきたい家計の節約	ひかり・でんき・dカード等、家計の節約につながるコンテンツについて学びます
	知っておきたいシニアの健康管理	スマホを活用した健康管理の方法やオンライン診療について学びます
	知っておきたいアプリ活用	アプリをさらに活用するためいちおしパック、d マガジン、d ヒッツについて学びます
	Wi-Fiとオンラインサービスを使おう	Wi-Fi、マイショップeサイトの申込方法、動画の閲覧方法について学びます
	災害に備えよう	台風・災害情報の調べ方、エリアメールなど災害時の対処法まで万が一の備えを学びます
	マップを使いこなそう	Googleマップを使った地図の見かた、ナビゲーションから便利な機能を紹介します
	タブレットの魅力を知ろう	電子書籍を読んだり地図で訪問先を調べたり、タブレットの便利な活用方法を紹介します
	海外で便利に使おう	海外でスマホを便利に使う方法や翻訳機能の使い方を紹介します。

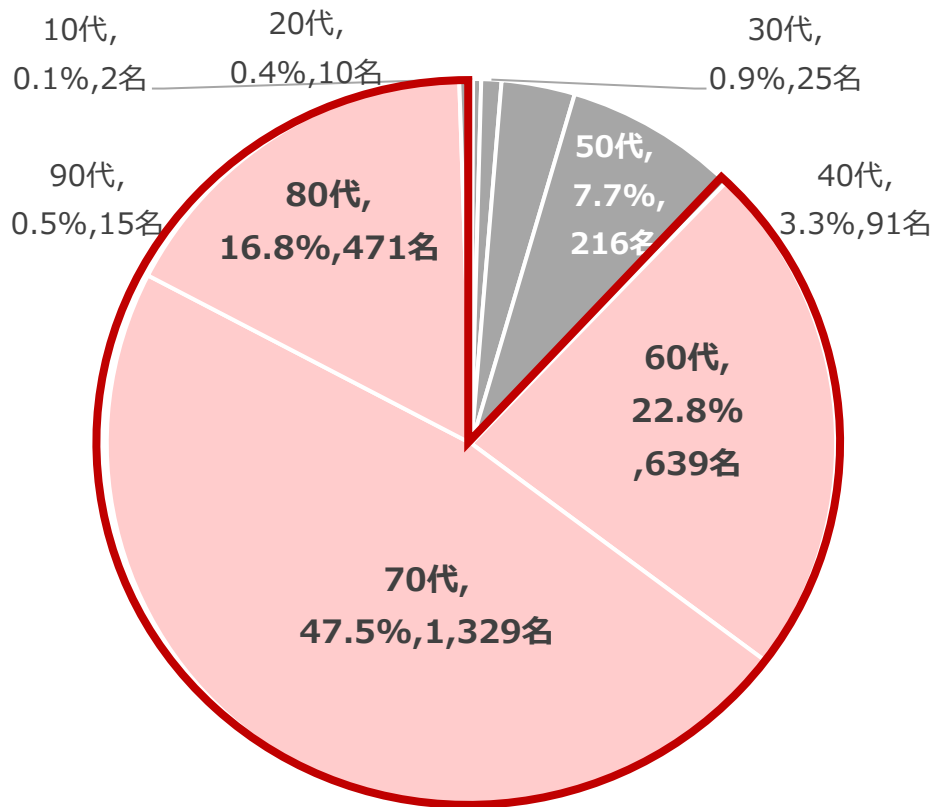
カテゴリ	講座名	内容
活用編 他社 アプリ (12講座) ※有料講座	LINEをはじめよう (ステップ1)	初期設定のしかた、メイン画面の見方や友だち登録のしかたを学びます
	LINEを楽しもう (ステップ2)	楽しいスタンプの追加方法や送り方、友だちと撮った写真の共有方法を学びます
	LINEを使いこなそう (ステップ3)	LINE電話の使い方やグループトークを楽しむ方法。お得なクーポンの利用方法を学びます
	ネット動画を楽しもう	YouTubeの特長、ホーム画面の見方、動画の再生方法、チャンネル登録を学びます
	Twitterをはじめよう (ステップ1)	Twitterでできること、初期設定からホーム画面の見方と操作方法、フォローについて学びます
	Twitterを楽しもう (ステップ2)	ツイートのしかた、タイムラインの見方、リプライ・リツイートのしかた、安全・安心な使い方を学びます
	Instagramをはじめよう (ステップ1)	Instagramの特長、アカウントの作成方法、メイン画面の見方、写真の投稿について学びます
	Instagramを楽しもう (ステップ2)	インスタ映えとは何か、撮った写真の加工方法、プロフィール設定について学びます
	天気アプリを便利に使おう	ウェザーニュースの特長、ホーム画面や天気予報の見方、雨雲レーダーについて学びます
	Facebookをはじめよう (ステップ1)	アカウントの作成方法、プロフィール登録のしかた、友だちとの繋がりを学びます
	Facebookを楽しもう (ステップ2)	投稿のしかた、グループの探し方、メッセージ機能について学びます
	乗換案内を便利に使おう	経路検索のしかた、時刻表の調べ方、交通機関の運行状況の確認方法を学びます
活用編 企業連携 (1講座) デジ活 (8講座)	メルカリで出品体験をしよう	メルカリで商品を購入したり、売りたい物の出品のしかたを学びます
	マイナンバーカードの申請をしよう	スマートフォンからマイナンバーカードを申請する方法を学びます
	マイナポータルを使ってみよう	スマートフォンを使ったマイナポータルの使い方を学びます
	オンライン診療を利用してみよう	スマートフォンからオンライン診療で予約をする方法を学びます
	マイナポイントの申込をしよう	スマートフォンからマイナポイントの予約・申請をする方法を学びます
	マイナンバーに健康保険証と公金受け取り口座の登録をしよう	マイナンバーへの健康保険証の利用登録と公金受取口座の設定のしかたを学びます
	全国版救急受診アプリ (Q助) を利用してみよう	全国救急受診アプリ (Q助) について学びます
	ワクチン接種証明書 (ワクチンパスポート) を発行しよう	ワクチン接種証明書 (ワクチンパスポート) の発行方法についてサポートします。
	ワクチン接種をWEBで申し込もう	ワクチン接種のWEB申込みについてサポートします。

※3,300円(税込)

カテゴリ	講座名	内容
キッズ編 (9講座)	知育アプリで遊ぼう	プログラミング的思考を体験するきっかけとして、知育アプリを使って楽しく学ぶ講座です
	お子さんとプログラミングを学ぼう	スマートフォンで簡単にプログラミング的思考を学ぶ方法を紹介しします
	embotを動かしてみよう	(小学生むけ) プログラミング教室の体験をしていただけます ※保護者の方の付き添いが必要です
	プログラミング教室embot(ステップ1)	(小学生むけ) プログラミング教室です。全6回コースの1回目です プログラミング教材「embot」が必要です
	プログラミング教室embot(ステップ2)	(小学生むけ) プログラミング教室です。全6回コースの2回目です プログラミング教材「embot」が必要です
	プログラミング教室embot(ステップ3)	(小学生むけ) プログラミング教室です。全6回コースの3回目です プログラミング教材「embot」が必要です
	プログラミング教室embot(ステップ4)	(小学生むけ) プログラミング教室です。全6回コースの4回目です プログラミング教材「embot」が必要です
	プログラミング教室embot(ステップ5)	(小学生むけ) プログラミング教室です。全6回コースの5回目です プログラミング教材「embot」が必要です
	プログラミング教室embot(ステップ6)	(小学生むけ) プログラミング教室です。全6回コースの6回目です プログラミング教材「embot」が必要です

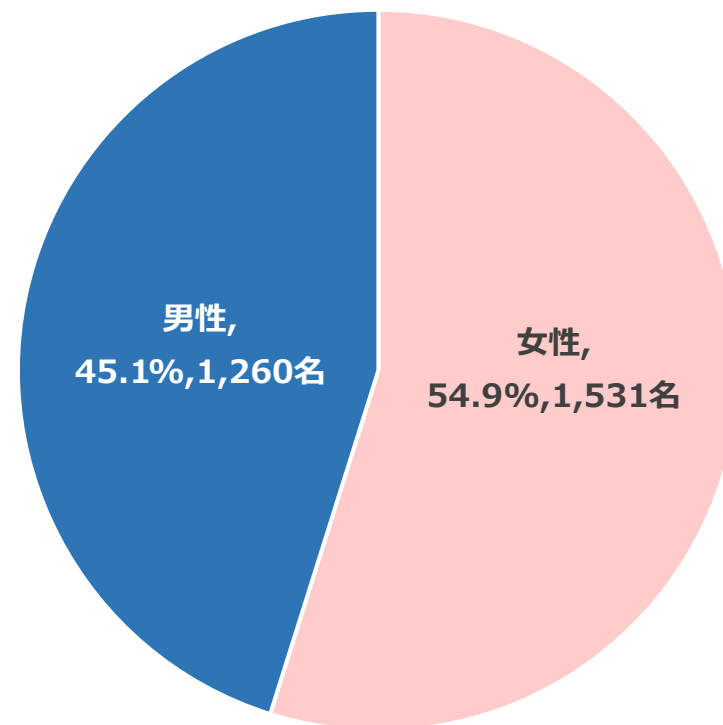
参加者の約9割は60代以上で構成されており、男女比率に大きな差分はない

参加者年代



参加者のうち約9割が60～80代で構成

参加者性別



参加者の男女比率は大きな差分はなし

※2023年3月～5月の実績

スマホの操作に不安な方だけでなく、情報漏洩や詐欺被害等のトラブルに不安を抱いている方もスマホ教室に参加いただいている

お客様の声

スマホへの不安点

タッチ操作やログインが難しい、用語が覚えられず理解ができない

情報漏洩や詐欺被害等のトラブルに遭うのではないかと不安がある

1度スマホ教室に参加しただけでは、操作に不安があるため、リピーターの方が多い

普段使用しているアプリ

電話・メール・LINEでのメッセージのやりとり・写真の撮影

参加のきっかけ

ドコモショップ内の掲示物（ポスターや教室カレンダーなど）

ドコモショップのスタッフからの案内

ドコモのCM・ドコモの総合カタログ（パンフレット）

家族・友人からの紹介

22年度-23年度において、6市・県警でスマホ教室を開催(一部開催予定も含む)
補助金を活用して実施する予定の自治体もあり

自治体名	取り組み状況
日光市	総務省の補助金「デジタル活用支援推進事業」を活用して開催予定
下野市	10月および2月に開催予定
足利市	役場や温泉施設を活用し、複数回開催
鹿沼市	体験編のスマホ教室を開催 告知は回覧板を活用し、自治体主体で実施
さくら市	総務省の補助金「デジタル活用支援推進事業」を活用して開催予定
那須烏山市	スマホ保有者・未保有者向けに複数回開催 今後は総務省の補助金「デジタル活用支援推進事業」の「講師派遣型」を活用予定
栃木県警	小学生・保護者向けにあんしん安全のスマホ教室を開催 今後は地域所轄署との連携を予定
佐野市・足利市	キャッシュレスキャンペーンの促進のために、市役所にてキャッシュレス決済のサポート会(初期設定・利用方法・決済体験等)を実施

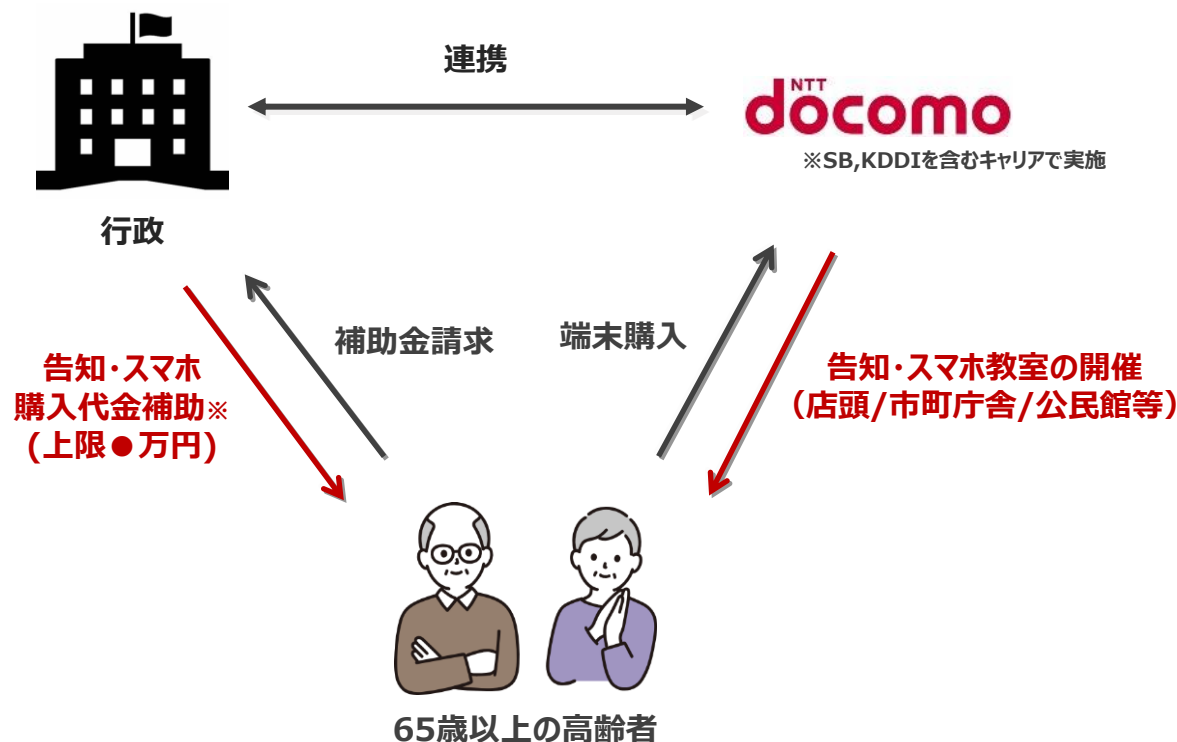
参加者側の課題でもっとも多いのが操作習熟であり、継続的なサポートが必要
自治体とのスマホ教室においては、市民のニーズ把握や補助金の情報等、
デジタルデバイド解消に向けての情報が不足している状況

参加側/運営側	項目	課題
参加者側	操作習熟	1回スマホ教室に参加しただけでは、操作に不安が残る マイナ施策やその他キャンペーンで付与されたポイントの利用方法がわからない
	セキュリティ	情報漏洩や詐欺被害等のトラブルに遭うのではないかと不安がある
	予約関連	興味はあるが、どのように予約をすればいいかわからない
運営側 (自治体連携)	実施方法	デジタルデバイド解消の重要性は理解しているものの、何から手をつければいいかわからない 市民の方がどのような講座を求めているかニーズがわからない
	予算	今まで取り組んでいなかったため、市役所内の優先順位が低く、予算が付きづらい
		活用できる補助金の情報がないため、取組が促進できない

スマホの操作に加えて
日常で快適に利用
いただくために
継続的な
サポートが必要

取り組む意思は
あるものの
“情報が不足”
している状況

デジタルデバイド解消を目的に、高齢者のスマホ購入補助事業を実施
スマホ教室受講を補助金の条件に設定することで、操作が不安な方のサポートも可能に



※65歳以上の市民・町民、スマホを初めて購入される方、対象店舗が主催するスマホ教室を受講していることが補助金交付の条件

デジタルデバイド解消を目的に各自治体においてスマホ購入補助金の取組が広がっています (茨城・新潟・群馬・埼玉等で実施)

・朝日新聞

「お年寄りにスマホを」自治体支援、2万円の補助も 孤立ゼロめざす

有料記事
久保田一彦 伊藤良溪 2021年9月19日 22時37分

高齢者がスマートフォンを購入する際に自治体が独自に費用を補助する動きが、全国に広がっている。国の調査では、70歳以上の6割近くがスマホやタブレットを使用しておらず、デジタル化の波に取り残される人を減らすのが狙いだ。20日は敬老の日。高齢者にスマホが行き渡るどくが出来るようになるのか。(久保田一彦 伊藤良溪)



<https://www.asahi.com/articles/ASP9M5HKGP9KUJHB014.html>

・日経新聞

日本経済新聞

この記事は会員限定です

高齢者にスマホを 広島・安芸高田市が購入補助へ

広島 +フォローする
2021年11月17日 18:20 [有料会員限定]

広島県安芸高田市は2022年度から高齢者向けにスマートフォンの購入を補助する方向で検討を始めた。同市は災害や新型コロナウイルス関連の情報をLINEやツイッターなどのSNS(交流サイト)で発信している。今後も行政情報の発信が増えると見込まれるなか、高齢者への普及の遅れが障壁となっており、補助が普及をはかる。

補助対象は65歳以上の高齢者となる予定で、補助額や要件などは今後詰める。これに先立ち、11..

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC154NH0V11C21A1000000/>

・産経新聞

「デジタル弱者」なくせ 埼玉県内の自治体、高齢者のスマホ購入費補助

2022/9/30 19:20 中村 智隆
政治 | 地方自治 | 地方 | 関東 | 埼玉

埼玉県内の自治体で高齢者がスマートフォンを購入する際に費用の一部を補助する動きが広がっている。秩父市は11月から上限3万円を支給する制度をスタート。すでに始めている行田市や横瀬町では申請が相次ぐ。自治体のデジタル化が進む中、スマホを前提としたサービスも増えており、「デジタル弱者」とされてきた高齢者にも利便性を享受してもらおう狙いだ。(中村智隆)




・茨城新聞

デジタルデバイド(情報格差)を解消するため、高齢者がスマートフォンを購入する際、自治体が独自に費用を助成する動きが茨城県内で広がっている。高齢化率が高まる中、購入を後押しすることで行政・災害情報などの迅速な伝達や行政の効率化、情報格差は正につなげたい考えだ。

つくばみらい市は、スマホを初めて購入する65歳以上の市民に費用の一部を助成する事業を始める。市が指定した店で購入した人に2万円を上限に補助する。購入後は、アプリのインストール方法といった基本操作などの講座を受けることが条件となっている。

予算は600万円。同市は300人の利用を見込んでおり、「コロナ禍もあり、行政手続きのオンライン化が進む中でスマホの活用は欠かせない」と呼びかけている。



https://ibarakinews.jp/news/newsdetail.php?f_jun=16513154345047

・東京新聞

横瀬町や行田市、シニアのスマホデビュー費用補助 申請続々

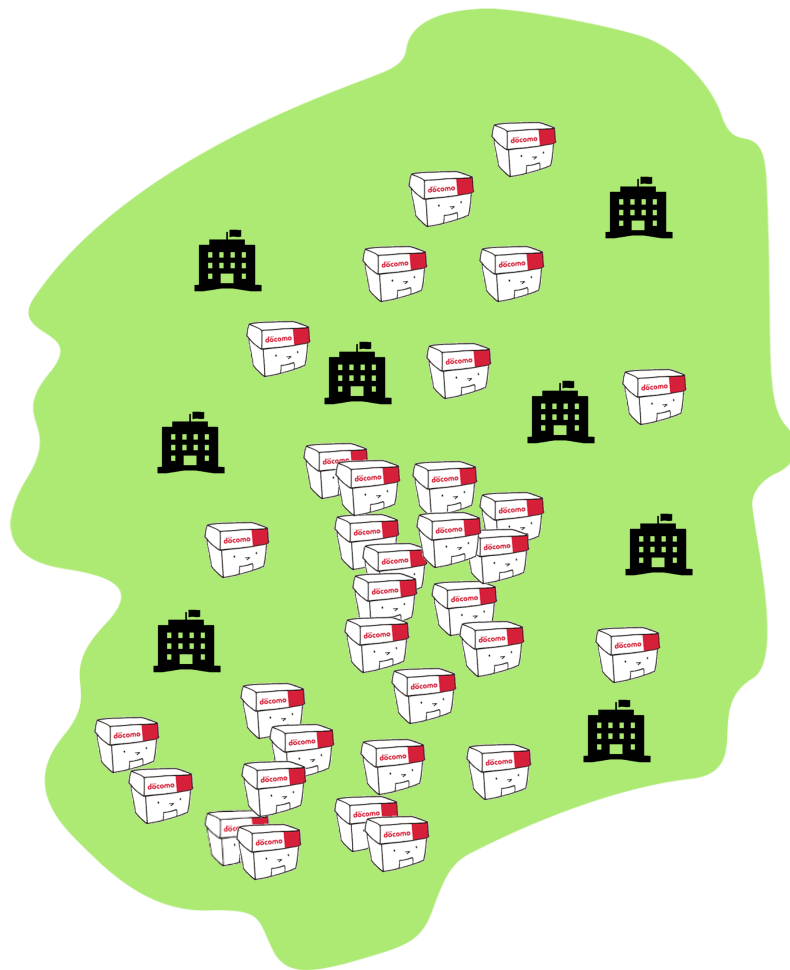
2021年11月11日 07時51分

高齢者が初めてスマートフォンを購入する際、費用の一部を補助する制度を横瀬町と行田市が創設し、申請が相次いでいる。新型コロナウイルスの感染拡大によってインターネットでやりとりする機会が増え、スマホを持っていることを前提としたサービスや手続きも増えている。自治体としてはシニア層にもスマホの利便性を感じてもらい、利用を後押ししたい狙いがある。(寺本康弘)



<https://www.tokyo-np.co.jp/article/142160>

市町庁舎や公民館等の公共施設でスマホ教室を開催することで
お近くにドコモショップがない方にも気軽にご参加いただける



栃木県内にドコモショップは
33店舗あり



遠隔地に住んでいる方は
スマホ教室に参加したくても
“距離”が理由で参加できない方が
一定数いる



市町庁舎や公民館等の公共施設で
スマホ教室を開催することで
多くの方に参加いただくことができる

お電話やLINE、+メッセージでスマホに関するお問い合わせいただくと オペレーターがスマホの使い方をサポートします



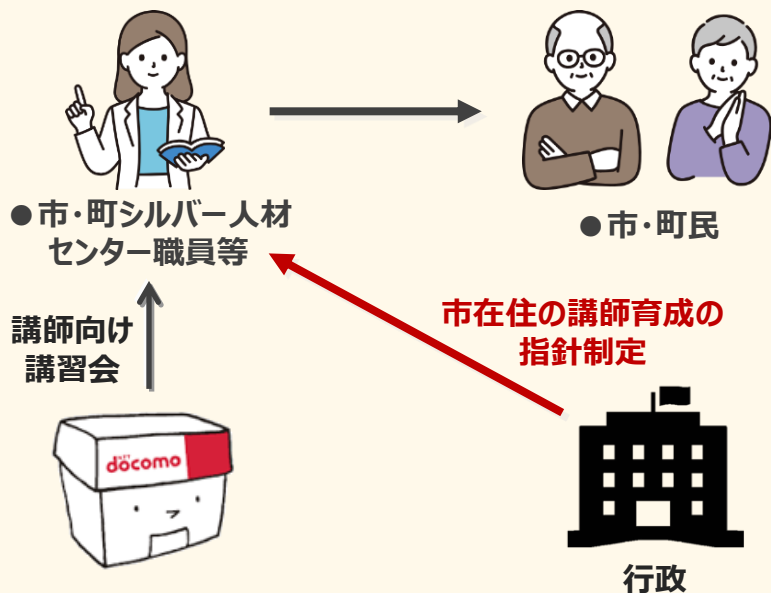
Point

- ・お客様に代わって操作設定
- ・LINEや+メッセージで気軽にお問い合わせ可能
- ・年中無休でサポート
- ・Q&Aサイトに全国から寄せられているお問い合わせを掲載

市・町民の講師育成による「共助」システムの構築や補助金情報を展開することで
デジタルデバイドの解消に寄与できると考えております

講師育成

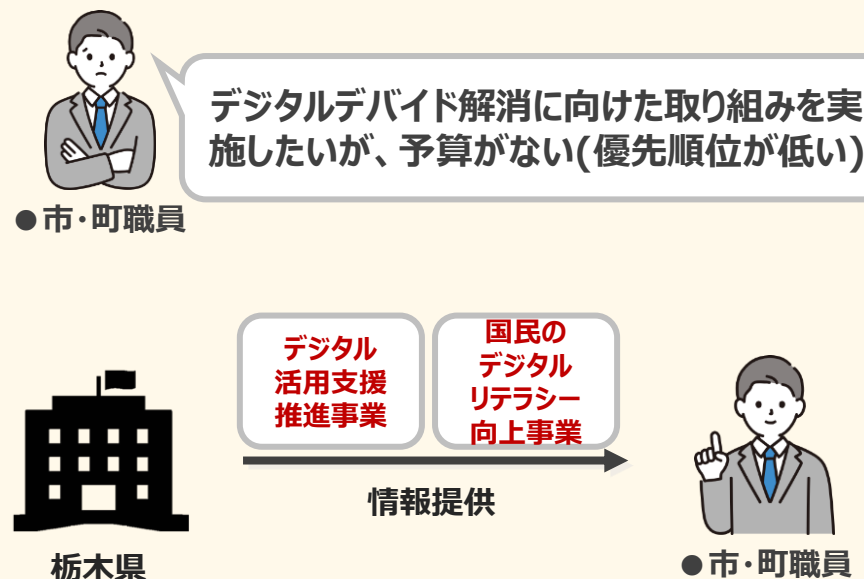
市・町単位でデジタルデバイドを解消できる人材を育成
＝「共助」システムの構築



※県・市職員向けの講習会も実施可能

補助金情報の展開

補助金の情報を全市町村に展開することで、
デジタルデバイド解消の一助となる



あなたと世界を変えていく。

NTT
docomo